

第2章

都市づくりを取り巻く足利市の現状

2.1 本市の位置

- 本市は、東京から北へ80kmの位置にあり、栃木県佐野市、群馬県桐生市、太田市、邑楽町、館林市に接しています。
- 古くからの織物のまちとして知られていますが、近年はアルミや機械金属、プラスチック工業などを中心に、総合的な商工業都市になっています。
- 本市の面積は17,776haで、行政区域の全部が都市計画区域となっています。このうち、市街化区域は3,206haで約18.0%を占め、市街化調整区域は14,570haで約82.0%を占めています。



本市の位置

都市計画区域の規模 (単位:ha)

	①行政区域面積	②都市計画区域面積	③市街化区域面積	④市街化調整区域面積
		② / ①	③ / ②	④ / ②
足利市	17,776	17,776	3,206	14,570
	-	100.0%	18.0%	82.0%
佐野市	35,604	13,254	3,013	10,241
	-	37.2%	22.7%	77.3%
桐生市	27,445	13,747	3,034	10,713
	-	50.1%	22.1%	77.9%
太田市	17,554	15,457	4,315	11,142
	-	88.1%	27.9%	72.1%
館林市	6,097	6,097	1,691	4,406
	-	100%	27.7%	72.3%
みどり市	20,842	6,666	非線引き	
	-	32.0%	-	-

注) 本市、佐野市は平成28年4月1日現在、桐生市、太田市、館林市、みどり市は平成27年7月1日現在

(出典:栃木県の都市計画平成28年、ぐんまの都市計画2015)

2.2 本市の現況

1 人口

人口分布

- 本市の総人口は、平成2年をピークに、減少に転じました。
- 両毛6市においては、桐生市が本市と同様に減少傾向となっており、佐野市と館林市も横ばいから微減で推移しています。一方、太田市は増加傾向となっています。
- 本市の人口を地域別に見ると、足利中央地域が大きく減少しています。一方、山辺・矢場川・御厨地域は微増傾向にあり、平成2年以降は山辺・矢場川・御厨地域が足利中央地域を上回っています。

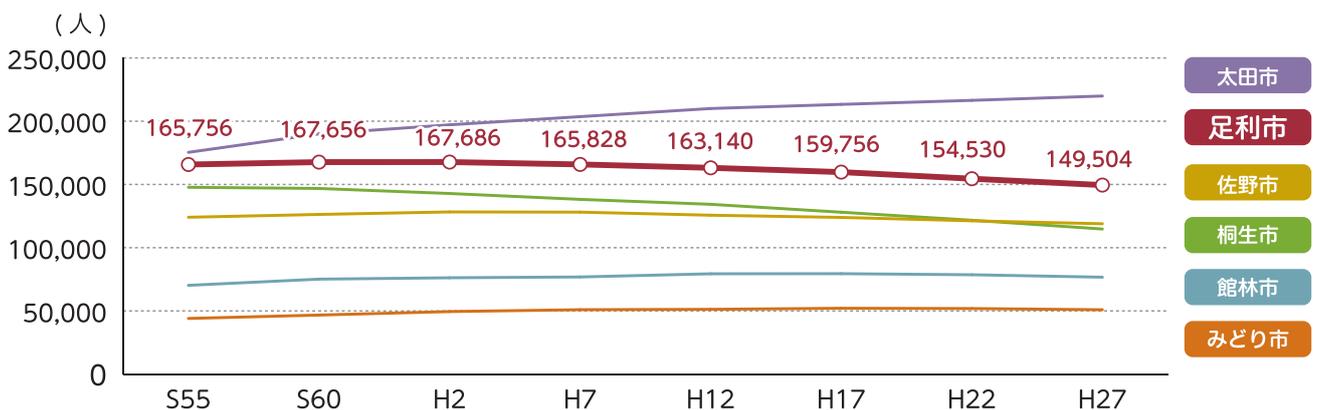
両毛6市の総人口と市内の地域別人口の推移（単位：人）

		S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	S55-H27 増減率
栃木県	足利市	165,756	167,656	167,686	165,828	163,140	159,756	154,530	149,504	-9.8%
	足利中央	41,994	40,199	37,183	33,912	31,126	29,156	27,256	25,557	-39.1%
	山辺・矢場川・御厨	36,121	37,276	38,712	39,040	39,689	39,853	39,905	39,255	8.7%
	毛野・富田	19,401	19,697	19,794	20,190	20,422	20,827	20,630	19,922	2.7%
	三重・山前	23,394	24,260	25,312	25,679	24,716	24,175	22,930	22,381	-4.3%
	葉鹿・小俣・三和	19,586	19,874	19,718	19,731	19,858	19,233	18,430	17,613	-10.1%
	名草・北郷	15,337	16,097	16,315	16,375	16,263	15,759	15,137	14,769	-3.7%
	筑波・久野・梁田	9,923	10,253	10,652	10,901	11,066	10,753	10,242	9,955	0.3%
	佐野市	124,061	126,287	128,276	128,099	125,671	123,926	121,249	118,919	-4.1%
群馬県	桐生市	147,744	146,825	142,838	138,193	134,298	128,037	121,704	114,760	-22.3%
	太田市	175,381	189,931	197,139	203,599	210,022	213,299	216,465	219,896	25.4%
	館林市	70,245	75,141	76,221	76,857	79,371	79,454	78,608	76,676	9.2%
	みどり市	44,064	46,743	49,502	50,983	51,266	52,115	51,899	50,942	15.6%

注) 昭和55年～平成12年の数値は、合併前の構成市町村の数値を合計したものであり、佐野市（平成17年2月28日合併）は旧佐野市、田沼町、葛生町の計、桐生市（平成17年6月13日合併）は旧桐生市、新里村、黒保根村の計、太田市（平成17年3月28日合併）は旧太田市、尾島町、新田町、数塚本町、みどり市（平成18年3月27日合併）は勢多郡東村、笠懸町、大間々町の計である。

（出典：国勢調査）

総人口の推移



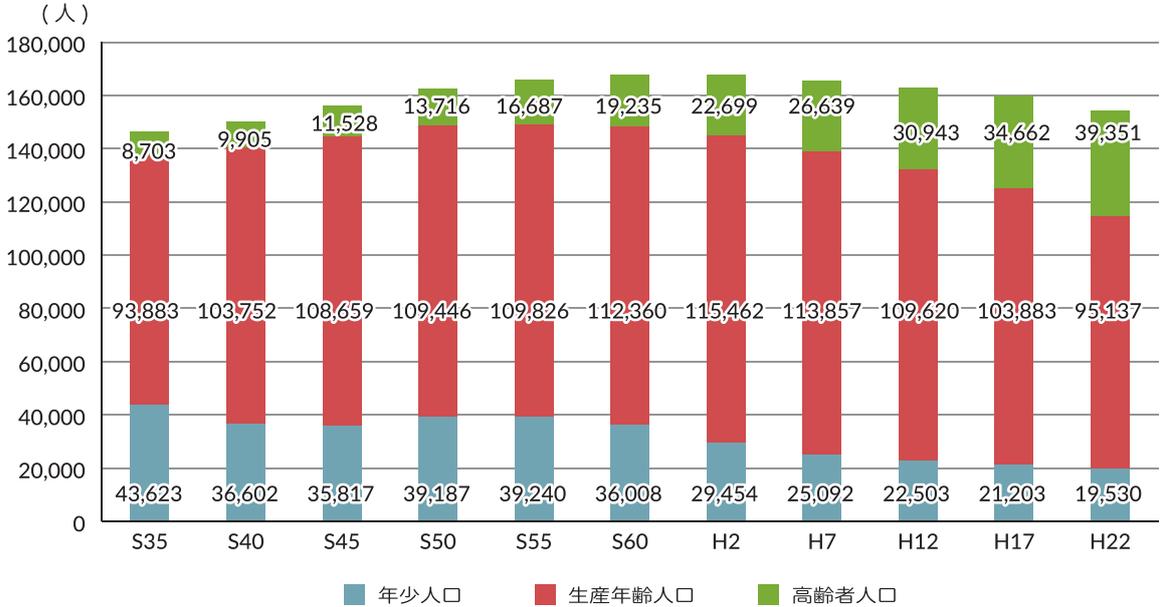
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7

都市づくりを取り巻く足利市の現状

本市の年齢3区分別の人口推移

- 国勢調査により本市の年齢3区分別の人口推移をみると、年少人口（0～14歳）は昭和55年、生産年齢人口（15歳～64歳）は平成2年をピークに減少しています。高齢者人口（65歳以上）は昭和35年以降、増加しています。

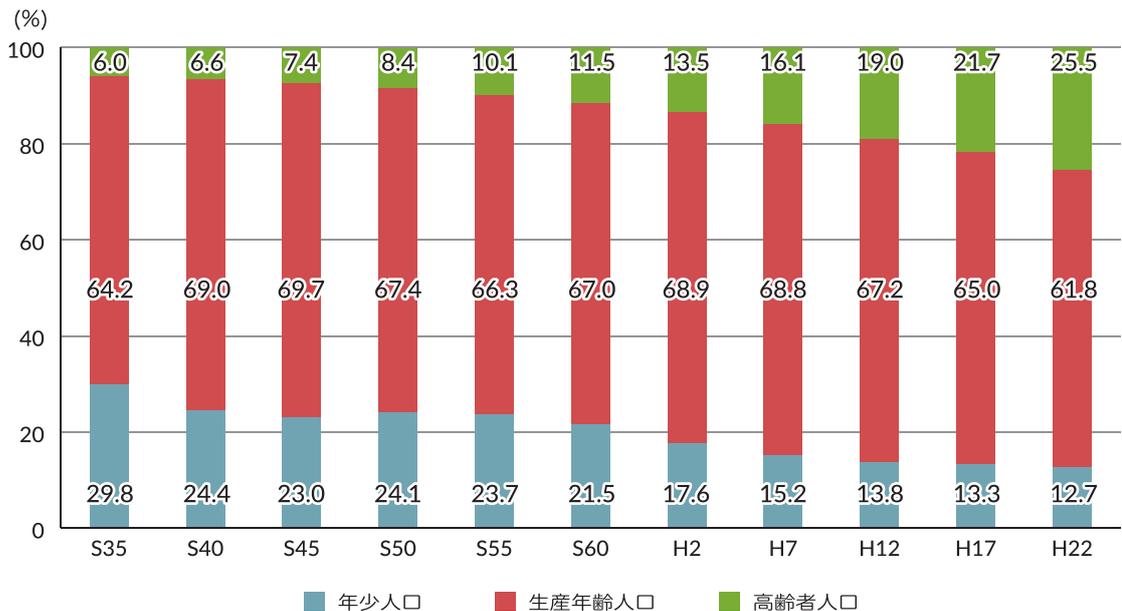
本市の年齢3区分別人口の推移



注) 不詳があるため総数と内容の計が一致しない。また、構成比は不詳を除いた人口での割合。
 注) 昭和35年については、未合併地区分（ただし矢場川地区を除く）を含む。

(出典: 統計あしかが 2015 (国勢調査))

本市の年齢3区分別人口割合の推移

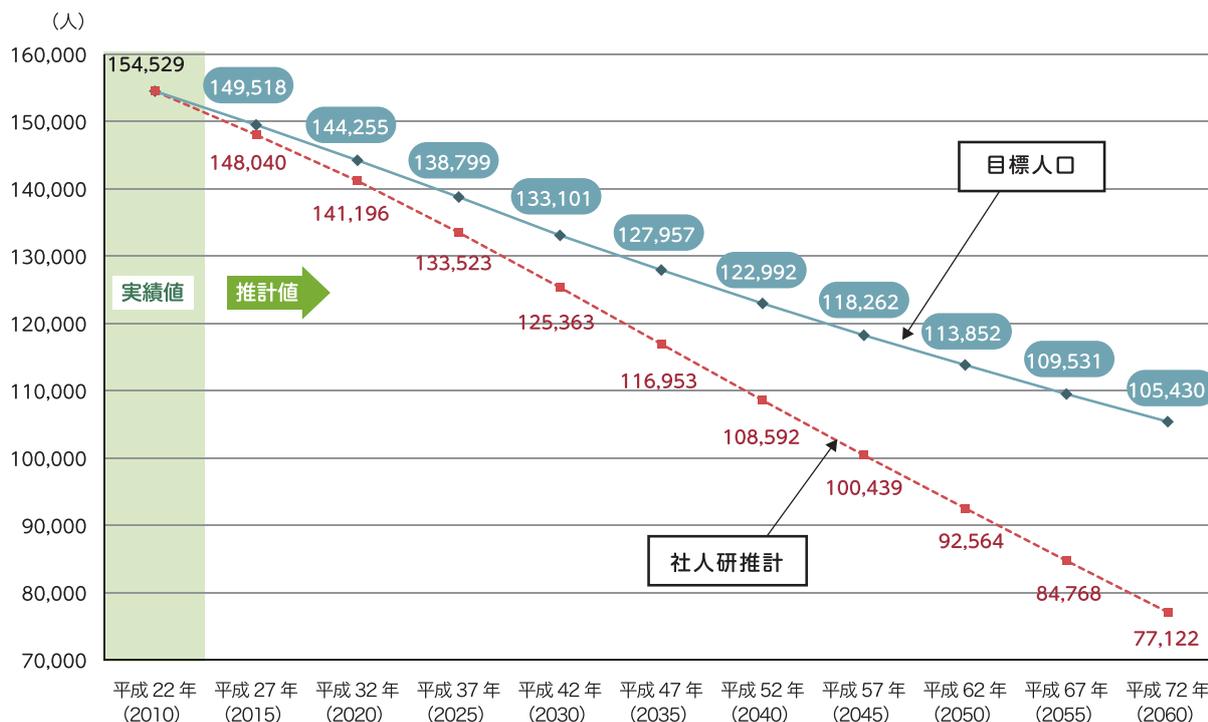


(出典: 統計あしかが 2015 (国勢調査))

将来推計人口

- 本市の総人口は、基準年度である平成22年の154,529人から、国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推計によると、30年後の平成52年（2040年）には108,592人、50年後の平成72年（2060年）には77,122人となり、50年間の減少率は50%を超すと予測されています。
- その中で、本市の人口減少対策の成果が現れることにより、平成72年（2060年）の総人口は105,430人になると推計され（目標人口）、100,000人の人口が確保されると展望されています。

社人研推計による将来推計人口



(出典: 足利市人口ビジョン)

空き家の状況

- 住宅・土地統計調査から、本市の空き家は平成20年から平成25年にかけて2割ほど増加しています。

本市の空き家の状況

足利市	H20	H25	H20-H25 増減率
空き家総数	11,150	13,310	19.4%
腐朽・破損あり	2,370	2,960	24.9%
腐朽・破損なし	8,780	10,350	17.9%

(出典: H20・H25住宅・土地統計調査)

2 産業

本市の産業別就業者数

- 平成27年の国勢調査によると、本市の産業別就業者数は、製造業が最も多く29.6%を占め、次いで、卸売業・小売業の15.1%、医療・福祉の11.8%となっています。

本市・栃木県の産業別就業者数（単位：人）（平成27年）

	足利市		栃木県	
	就業者数	構成比	就業者数	構成比
総数	71,758	100.0%	963,969	100.0%
第一次産業	1,292	1.8%	53,177	5.5%
農業、林業	1,290	1.8%	53,036	5.5%
（うち農業）	1,274	1.8%	51,936	5.4%
漁業	2	0.0%	141	0.0%
第二次産業	25,931	36.1%	296,120	30.7%
鉱業、採石業、砂利採取業	40	0.1%	668	0.1%
建設業	4,652	6.5%	68,304	7.1%
製造業	21,239	29.6%	227,148	23.6%
第三次産業	42,981	59.9%	578,864	60.1%
電気・ガス・熱供給・水道業	232	0.3%	3,588	0.4%
情報通信業	608	0.8%	10,680	1.1%
運輸業、郵便業	4,090	5.7%	47,946	5.0%
卸売業、小売業	10,833	15.1%	137,545	14.3%
金融業、保険業	1,344	1.9%	17,420	1.8%
不動産業、物品賃貸業	1,145	1.6%	12,723	1.3%
学術研究、専門・技術サービス業	1,527	2.1%	33,433	3.5%
宿泊業、飲食サービス業	3,660	5.1%	53,257	5.5%
生活関連サービス業、娯楽業	2,982	4.2%	37,260	3.9%
教育、学習支援業	3,059	4.3%	40,482	4.2%
医療、福祉	8,447	11.8%	99,653	10.3%
複合サービス事業	569	0.8%	8,412	0.9%
サービス業（他に分類されないもの）	2,979	4.2%	47,017	4.9%
公務（他に分類されないもの）	1,506	2.1%	29,448	3.1%
分類不能の産業	1,554	2.2%	35,808	3.7%

（出典：H27国勢調査）

事業所数

- 本市は、両毛6市において、最大の事業所数を有する都市でしたが、近年は減少傾向にあります。昭和56年から平成26年までの増減率では桐生市に次いで減少率が高くなっています。

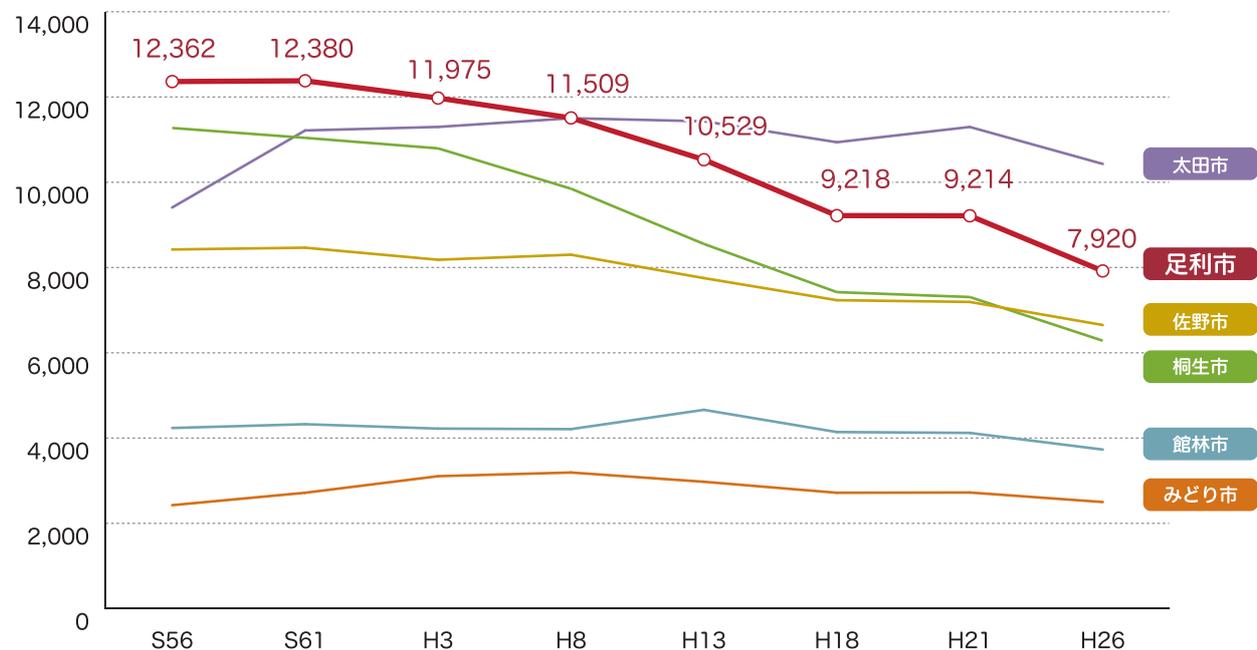
事業所数の推移（単位：事業所）

	S56	S61	H3	H8	H13	H18	H21	H26	S56-H26 増減率
足利市	12,362	12,380	11,975	11,509	10,529	9,218	9,214	7,920	-35.9%
佐野市	8,423	8,465	8,182	8,301	7,752	7,234	7,193	6,652	-21.0%
桐生市	11,273	11,042	10,795	9,849	8,553	7,423	7,308	6,284	-44.3%
太田市	9,409	11,215	11,298	11,502	11,430	10,939	11,297	10,431	10.9%
館林市	4,236	4,325	4,222	4,210	4,662	4,141	4,121	3,731	-11.9%
みどり市	2,426	2,717	3,106	3,192	2,975	2,717	2,723	2,500	3.1%

（出典：S56～H18は事業所・企業統計調査、H21、H26は経済センサス-基礎調査）

事業所数の推移

（事業所数）



注) 昭和56年～平成13年の数値は、合併前の構成市町村の数値を合計したものであり、佐野市（平成17年2月28日合併）は旧佐野市、田沼町、葛生町の計、桐生市（平成17年6月13日合併）は旧桐生市、新里村、黒保根村の計、太田市（平成17年3月28日合併）は旧太田市、尾島町、新田町、数塚本町、みどり市（平成18年3月27日合併）は勢多郡東村、笠懸町、大間々町の計である。

注) 事業所は全事業所数

注) S56、S61、H3は7月1日現在、H8、H18は10月1日現在、H21、H26は7月1日現在

（出典：S56～H18は事業所・企業統計調査、H21、H26は経済センサス-基礎調査）

工業

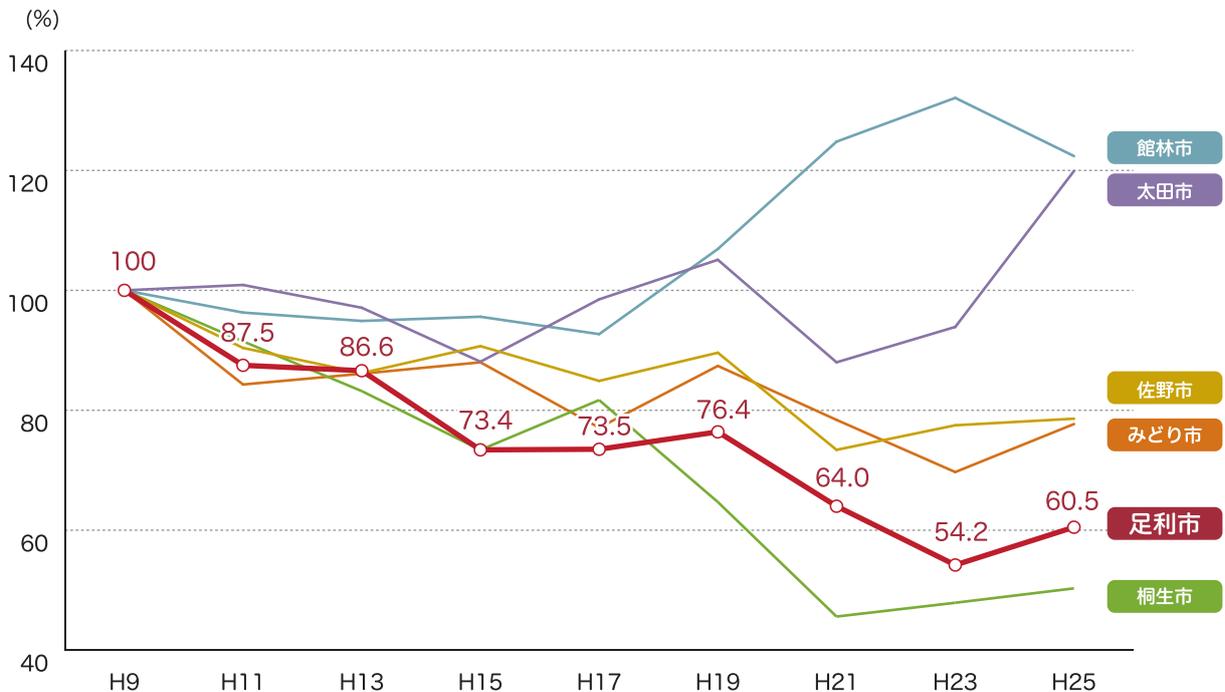
- 本市の製造品出荷額等は、平成9年を100とした場合、平成23年には54.2まで減少しましたが、平成25年には60.5まで増加しています。
- 両毛6市においては、館林市と太田市が増加傾向にあります。

製造品出荷額等の推移（単位：百万円）

	H9	H11	H13	H15	H17	H19	H21	H23	H25	H9-H25 増減率
足利市	547,190	479,026	473,611	401,895	402,013	417,908	350,010	296,692	331,049	-39.5%
佐野市	435,376	393,397	375,334	394,849	369,622	389,909	319,409	337,259	342,189	-21.4%
桐生市	424,525	388,595	353,115	311,419	347,019	274,846	193,645	203,493	213,347	-49.7%
太田市	1,959,288	1,976,477	1,903,322	1,725,671	1,930,208	2,059,972	1,725,022	1,840,748	2,349,131	19.9%
館林市	206,898	199,180	196,325	197,783	191,874	221,220	258,309	273,267	253,315	22.4%
みどり市	127,498	107,449	109,751	112,216	98,247	111,410	100,009	88,815	99,017	-22.3%

（出典：工業統計）

製造品出荷額等の推移（平成9年を100とした場合）



（出典：工業統計）

商業

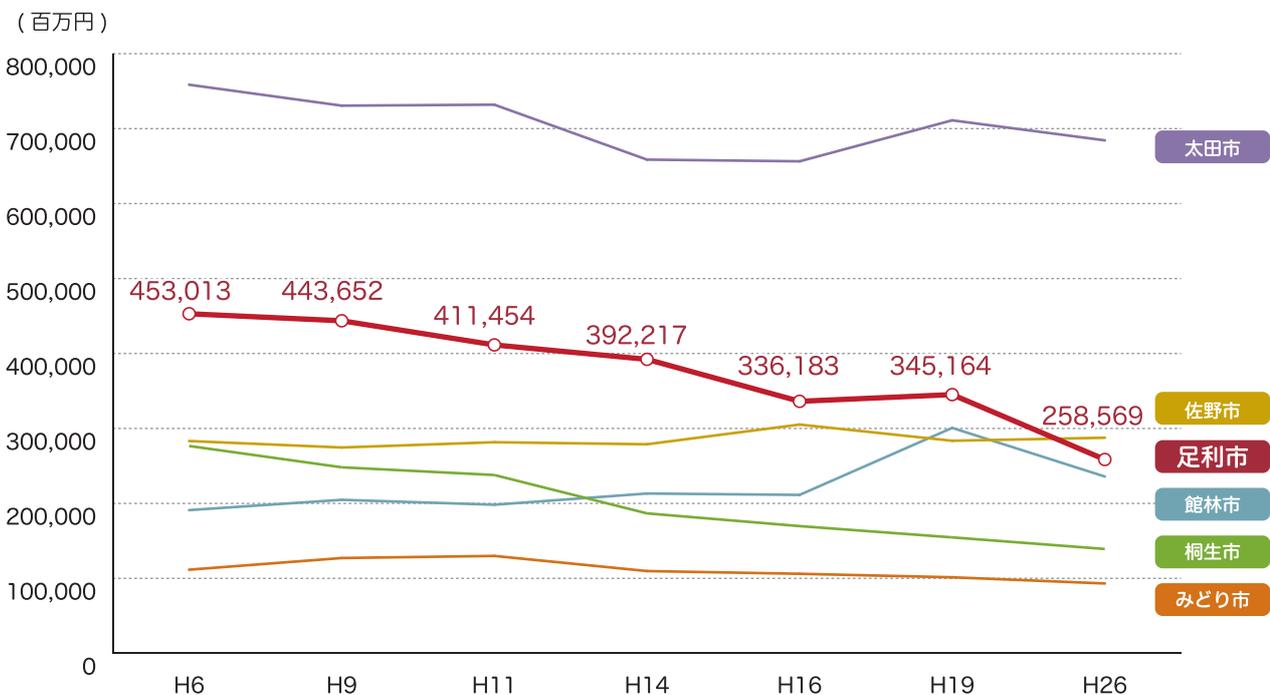
- 本市の年間販売額は、平成6年以降、減少傾向となっており、平成26年には佐野市や館林市に並ぶ水準まで低下しています。
- 両毛6市においては、太田市が高い水準を維持しています。

年間販売額の推移（単位：百万円）

	H6	H9	H11	H14	H16	H19	H26	H6-H26 増減率
足利市	453,013	443,652	411,454	392,217	336,183	345,164	258,569	-42.9%
佐野市	283,219	274,584	281,626	278,880	305,188	283,568	287,610	1.6%
桐生市	276,585	248,156	237,886	186,701	169,718	154,668	139,194	-49.7%
太田市	758,573	730,657	731,959	658,664	656,406	711,097	684,387	-9.8%
館林市	191,047	204,777	198,222	213,183	211,344	300,736	235,854	23.5%
みどり市	111,548	127,116	129,924	109,743	106,079	101,410	93,183	-16.5%

（出典：商業統計）

年間販売額の推移



（出典：商業統計）

1

2

3

4

5

6

7

都市づくりを取り巻く足利市の現状

3 交通

公共交通カバー率

- 本市の鉄道及び生活路線バスのサービス圏域内に居住する人口の割合（鉄道・バスカバー率）は79.5%と高く、公共交通を軸とした都市基盤が一定程度整備されています。

公共交通サービス圏の状況

市町村名	総人口(人)	デマンド区域運行を除く			
		公共交通サービス圏域人口	総人口に対する割合	鉄道・バスサービス圏域人口	総人口に対する割合
足利市	154,530	122,831	79.5%	122,831	79.5%
佐野市	121,249	93,364	77.0%	93,364	77.0%
栃木県	2,007,683	1,803,652	89.8%	1,478,426	73.6%

注) 平成28年4月1日時点における鉄道・バスの運行状況に基づき作成

注) 平成22年国勢調査のメッシュ人口をもとに算出

注) 公共交通サービス圏域は、鉄道駅1.5km圏域、バス系統(運行回数6回(3往復)/日以上)300m圏域、デマンド交通(区域運行)は運行範囲を圏域として設定

(出典:とちぎの公共交通 平成28年度版)

鉄道利用者数

- 本市の鉄道は2社2線が乗り入れており、本市中心部にJR両毛線足利駅と東武伊勢崎線足利市駅があります。
- JR両毛線足利駅と東武伊勢崎線足利市駅は、どちらも年間延べ約120万人が利用しています。

鉄道利用者数の推移(単位:人)

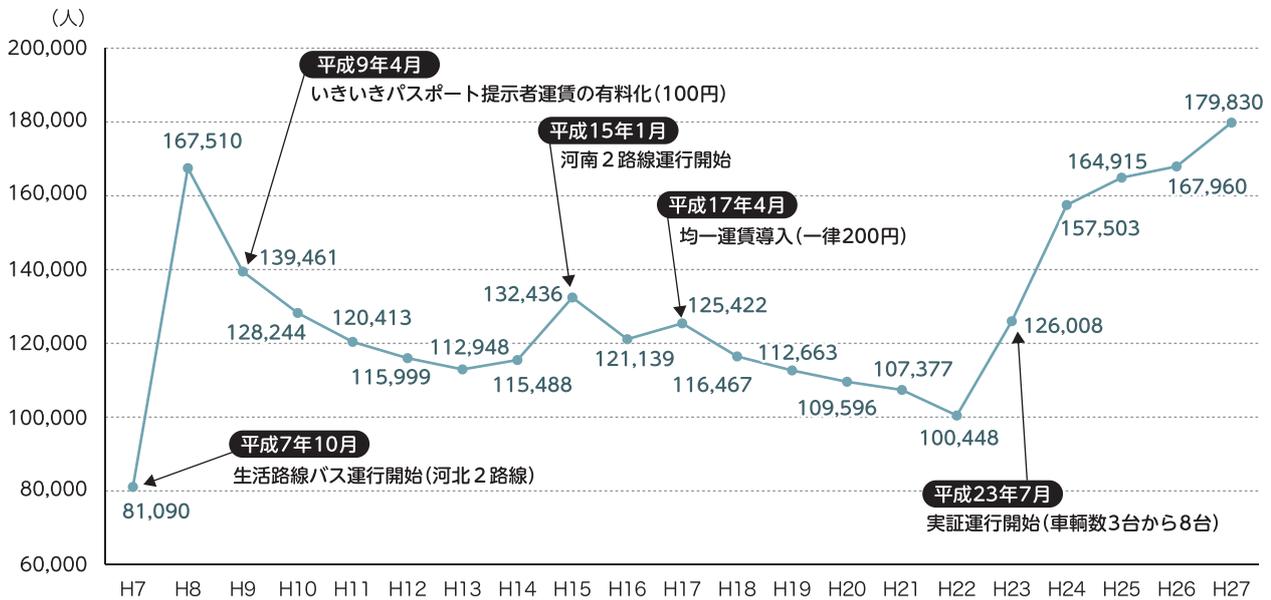
		H22	H23	H24	H25	H26	H22-H26 増減率
JR両毛線	富田駅	323,664	301,464	308,573	323,025	302,220	-6.6%
	足利駅	1,211,139	1,209,667	1,231,162	1,266,915	1,228,955	1.5%
	山前駅	283,239	287,142	301,729	315,360	313,900	10.8%
	小俣駅	187,627	180,604	189,100	193,085	186,880	-0.4%
東武伊勢崎線	足利市駅	1,209,519	1,171,719	1,194,606	1,234,623	1,213,072	0.3%
	福居駅	132,622	130,686	134,802	136,647	141,523	6.7%

(出典:統計あしかが2015)

生活路線バス利用者数

- 本市の生活路線バスの利用者数は、平成22年まで緩やかに減少していましたが、平成23年から増加に転じ、平成27年には年間約18万人が利用しています。

本市バス利用者数の推移（単位：人）



(出典：足利市資料)

都市計画道路の状況

- 本市の都市計画道路の計画延長は平成27年現在169.30kmとなっています。
- 両毛6市の中では佐野市に次いで改良済は高く、69.3% (117.28km) となっています。

都市計画道路の状況の推移

	計画 (km)						改良済 (km)						改良率					
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H22	H23	H24	H25	H26	H27
足利市	171.37	171.37	171.37	171.37	171.37	169.30	103.35	114.31	114.31	114.55	116.99	117.28	60.3%	66.7%	66.7%	66.8%	68.3%	69.3%
佐野市	136.70	136.68	136.68	136.68	139.27	139.27	96.08	100.95	102.05	102.05	102.06	102.09	70.3%	73.9%	74.7%	74.7%	73.3%	73.3%
桐生市	85.79	85.79	83.79	83.79	83.79	83.79	38.72	39.50	39.31	39.37	39.35	39.35	45.1%	46.0%	46.9%	47.0%	47.0%	47.0%
太田市	218.08	216.71	216.62	216.62	216.62	216.54	120.28	121.23	122.94	120.92	125.67	124.60	55.2%	55.9%	56.8%	55.8%	58.0%	57.5%
館林市	62.37	62.37	62.37	62.37	62.37	62.37	32.45	34.16	35.28	35.87	36.97	37.36	52.0%	54.8%	56.6%	57.5%	59.3%	59.9%
みどり市	24.36	24.36	24.36	24.37	24.37	24.37	5.65	7.33	7.02	6.66	7.28	7.97	23.2%	30.1%	28.8%	27.3%	29.9%	32.7%

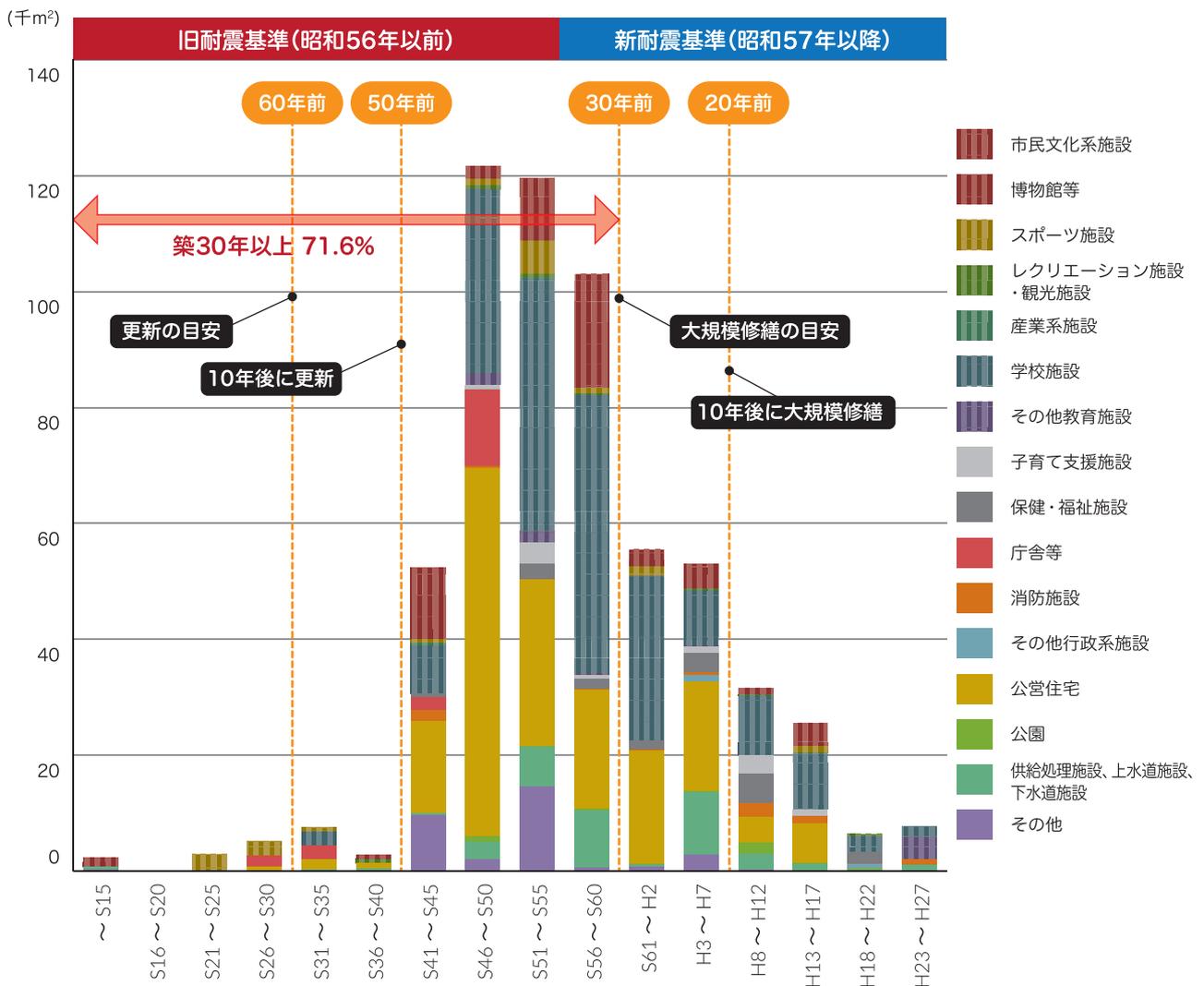
(出典：都市計画現況調査)

4 公共施設

公共施設の建築年度別延床面積

- 本市では、昭和40年代後半から50年代にかけて公共施設が集中的に整備されてきたため、現在、更新時期の築60年を経過した公共施設が既に見られるほか、大規模修繕時期の築30年を経過した公共施設が市の施設全体の7割以上あり、老朽化が進行している（更新や大規模修繕を必要としている）施設が多くを占めています。

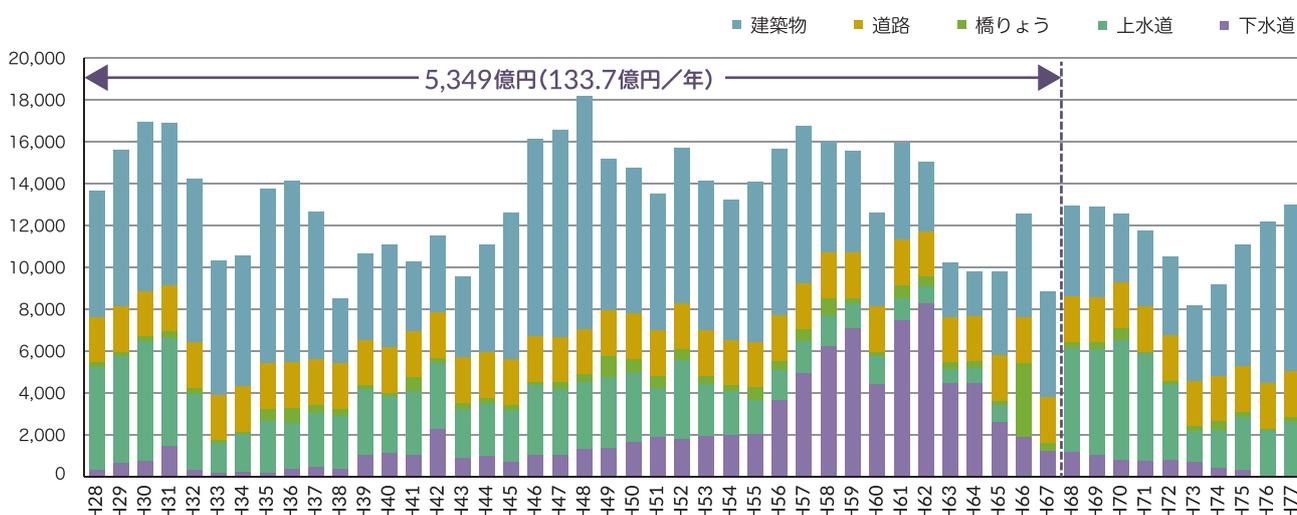
本市の建築物系公共施設の建築年度別延床面積



公共施設などの将来更新費用

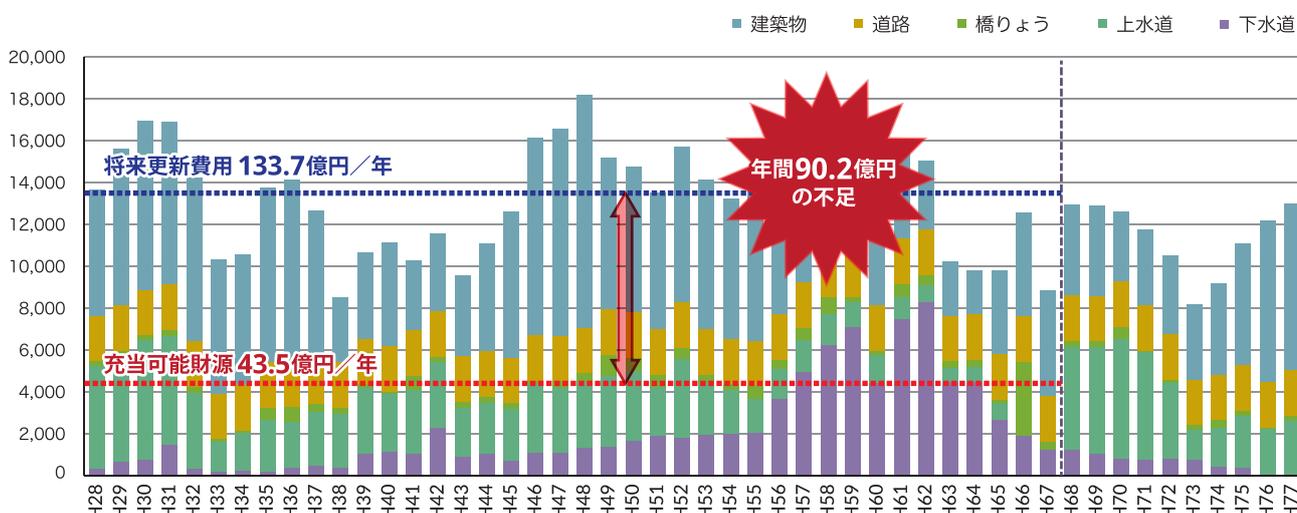
- 「足利市公共施設等総合管理計画（H28.3）」では、平成67年度（2055年度）までの40年間で公共施設など（建築物系公共施設、インフラ系公共施設）の更新などに関わる費用は約5,349億円で、平均すると年間約133.7億円かかる見込みとなると試算しています。
- 一方、一般会計と特別会計をあわせた公共施設などの将来充当可能な財源見込みは、年間約43.5億円と試算され、年間約90.2億円の不足が見込まれます。これにより、将来更新費用は、充当可能な財源見込み額の約3.1倍の費用が必要となります。

本市の全ての公共施設の大規模修繕・更新にかかる費用の推計



（出典：足利市公共施設等総合管理計画（H28.3））

充当可能な財源見込み及び将来更新費用との比較



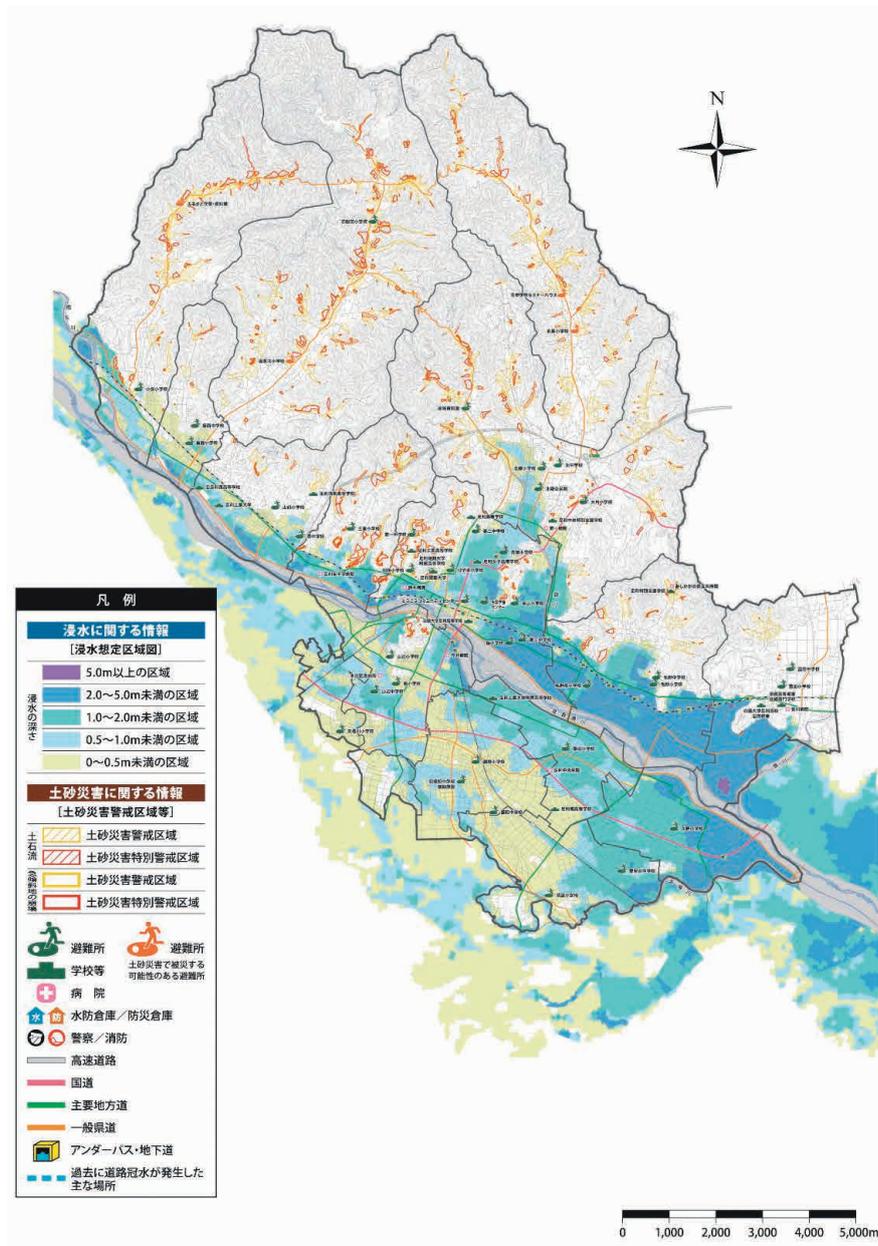
（出典：足利市公共施設等総合管理計画（H28.3））

5 防災

災害危険エリア

- 本市は水と緑に恵まれた都市である一方、渡良瀬川などの氾濫による浸水被害や土砂災害などのリスクとなりあわせになっています。
- 渡良瀬川を境に山間部となる北部に土砂災害の危険区域が比較的集中し、南部には浸水の想定区域が広がっています。

本市の洪水・土砂災害ハザードマップ



注) ハザードマップは、渡良瀬川、桐生川、矢場川、旗川、袋川が大雨によって増水し、堤防が決壊した場合の浸水予想結果にもとづいた「浸水範囲」と「浸水する深さ」の情報を示しています。

注) また、土砂災害については、がけ崩れや土石流のおそれのある危険区域を示しています。

(出典：H28 足利市地域防災計画)

6 観光

本市の観光入込客数

- 本市の観光は、東京圏の住民を中心としたマイカーと観光バスによる日帰り・通過型観光となっています。
- 平成13年から足利学校、あしかがフラワーパーク、栗田美術館を足利三名所として集客しています。
- 観光入込客数は、平成3年の太平記の影響による480万人をピークに、以降は約240~300万人で推移していましたが、近年は300万人を超え、平成27年は約400万人となっています。
- 外国人宿泊客数は増加傾向にあり、年間2500人を超え、宿泊客数の約1割を占めています。

本市の観光入込客数（単位：万人）

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H15-H27 増減率
足利市	284.2	295.6	301.5	303.3	307.6	309.3	312.8	330.9	281.6	306.1	326.9	355.2	394.6	38.8%
足利学校	16.8	16.9	16.4	16.7	16.6	16.9	18.2	18.1	16.7	18.4	17.5	17.6	18.6	10.7%

（出典：平成28年度足利市の概況（市全体：栃木県観光協会調べ、足利学校：足利学校管理事務所調べ）

本市の観光入込客数の推移（平成15年を100とした場合）



（出典：H28年度足利市の概況（市全体：栃木県観光協会調べ、足利学校：足利学校管理事務所調べ）

本市の観光宿泊客数の推移（単位：人、%）

		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H22-H27 増減率
宿泊客数	総数	13,941	14,212	16,861	23,170	26,445	28,167	202.0%
	外国人	126	2,338	2,901	2,759	3,090	2,703	2145.2%
	下段：対総数	0.9%	16.5%	17.2%	11.9%	11.7%	9.6%	—

（出典：H27 栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果）

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7

都市づくりを取り巻く足利市の現況

7 環境

自動車保有台数

- 本市の自動車保有台数は、両毛6市では、太田市に次いで多く、約11万5千台で推移しています。
- 本市の世帯あたりの自動車保有台数は、1.92台/世帯で、両毛6市で最小となっています。

自動車保有台数の推移(単位:台)

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H19-H25 増減率
足利市	115,897	115,450	114,705	114,446	114,945	115,213	115,756	-0.1%
佐野市	101,196	101,146	100,845	100,972	101,596	102,433	103,581	2.4%
桐生市	99,568	98,813	98,075	97,761	97,910	97,813	97,958	-1.6%
太田市	186,902	187,212	186,866	187,700	189,329	191,410	194,100	3.9%
館林市	62,247	62,123	62,047	62,350	62,697	63,353	63,961	2.8%
みどり市	45,484	45,501	45,424	45,441	45,623	46,020	46,518	2.3%

注) 本市は4/1現在を前年度末として表示、佐野市、桐生市、太田市、館林市、みどり市は年度末現在

(出典:本市は統計あしかが、佐野市は佐野市統計書、桐生市、太田市、館林市、みどり市は群馬県統計年鑑)

世帯あたり自動車保有台数の推移(単位:台/世帯)

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H19-H25 増減数
足利市	1.95	1.93	1.91	1.94	1.93	1.93	1.92	-0.03
佐野市	2.25	2.24	2.21	2.23	2.24	2.23	2.23	-0.02
桐生市	2.12	2.11	2.09	2.10	2.10	2.10	2.11	-0.02
太田市	2.35	2.31	2.29	2.31	2.30	2.28	2.27	-0.07
館林市	2.12	2.09	2.07	2.11	2.12	2.13	2.13	0.01
みどり市	2.53	2.51	2.49	2.48	2.47	2.47	2.47	-0.03

注) 本市は4/1現在を前年度末として表示、佐野市、桐生市、太田市、館林市、みどり市は年度末現在

(出典:本市は統計あしかが、佐野市は佐野市統計書、桐生市、太田市、館林市、みどり市は群馬県統計年鑑)

本市の幹線道路の交通量

- 本市における平成27年度の昼間12時間自動車類交通量をみると、各路線とも1万台を超える交通量があります。
- 大型車混入率は、県道足利邑楽行田線(羽刈町166-3)が29.3%と高い値を示しています。

本市の幹線道路の交通量(H27)

路線名	交通量観測地点地名	平成27年度			昼間12時間 大型車混入率	平成22年度
		昼間12時間自動車類交通量(台)				昼間12時間 自動車類交通量(台)
		小型車	大型車	合計		
一般国道293号	足利市榑崎町878-1地先	9,987	1,480	11,467	12.9	13,152
一般国道293号	足利市田中町31-8	12,876	511	13,387	3.8	15,273
一般国道407号	足利市南大町321-2	8,704	1,040	9,744	10.7	10,818
足利太田線	足利市借宿町596-1	11,013	686	11,699	5.9	12,370
足利邑楽行田線	足利市羽刈町166-3	6,480	2,683	9,163	29.3	10,411
足利千代田線	足利市八幡町1-10-1	10,767	472	11,239	4.2	10,848
足利環状線	足利市八門町441-1	11,528	659	12,187	5.4	10,651
足利環状線	足利市大月町3-1地先	11,145	841	11,986	7.0	12,767
足利環状線	足利市借宿町370地先	12,938	611	13,549	4.5	12,484
桐生岩舟線	足利市五十部町321地先	12,756	831	13,587	6.1	13,819
桐生岩舟線	足利市通2丁目2654	10,751	672	11,423	5.9	12,504
桐生岩舟線	足利市八門町441-1	11,528	659	12,187	5.4	10,651
佐野太田線	足利市川崎町1744-2地先	11,726	1,954	13,680	14.3	14,885
佐野太田線	足利市新宿町1174	9,061	608	9,669	6.3	10,785
丸山葉鹿線	足利市葉鹿南町18地先	10,818	995	11,813	8.4	12,059
竜舞山前停車場線	足利市鹿島町136-2地先	11,450	893	12,343	7.2	12,771

(出典：平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査(道路交通センサス))

二酸化炭素の排出傾向

- 本市の部門別二酸化炭素排出量の割合をみると運輸部門が最も多く28.2%を占め、次いで民生業務部門が25.1%を占めています。

市域の温室効果ガス排出量の部門別割合

